

図書館だより

よ 「読んでっ亭」通信



一迫商業高校図書館 中條
令和2年度 7月号

休館日…9日,10日,14日

◎本のリクエスト随時受付中

先月号にリクエスト票をつけました。何人かの人からリクエストがあり嬉しかったです。早速購入して、納品された順にお届けしています。人と本をつなぐのが司書の最重要ミッションです。いろいろなコンセプトで皆さんに本を紹介していきたいと思えます。ですが、一番は皆さんと直接お話をすることだと思っていますので、来館お待ちしております\(^_^)/ 追伸…『新聞雑誌コーナー』も今年度リニューアルしました(^-^)

◎七夕です👏😊

今年もまた“笹の葉サラサラ〜”竹を図書館前に設置します。短冊も添えておきますので、願い事がある人は心を込めて飾ってください。ちなみに『〇〇が当たりますように』とか『どこどこへ行きたい』という願い事はNG (No Good) だそうです。やはり七夕の由来を考えると、習い事の上達や学力UPといった今頑張っていることに対するお願いや、『無病息災』『家内安全』といった願い事をするのが筋のようです。



なお、今年の旧暦7月7日は8月25日なので、何本かに分けて、お盆明け頃まで飾る予定です。楽しんでください。

◎図書館の豆知識

ネタがなくなってきたので豆知識を(^_^;) >

皆さんは『新着本』と『新刊本』の違いが分かりますか？ちなみに本館では『新着本コーナー』と呼んでいます。なぜでしょう？（←オススメ本の伏線）

たいていは同じ本を指す場合が多いのですが、この明確な違いは**蔵書にする時期の違い**です。例えば、今月発行された初版本を今月蔵書にした場合は『新刊本』と呼びます。しかし、1年後それはもう新刊ではありません。そこで“新しく図書館に届いた本”という意味で『新着本』と呼びます。

つまり、リクエストされる本や資料がいつも新刊とは限らないので、本館では広い意味で『新着本コーナー』と呼んでいるのです。

◎今月のオススメ本（まずは手にとってみてください）

ズバリ『マンガでわかる東大読書』（西岡壺誠原案、小野洋一郎著・東洋経済新報社）です。この本では“なるほど！”という5つのコツが分かりやすく紹介されています。

①帯やPOPから内容の仮説を立てる装丁読み②疑問を持ちながら読む取材読み③その本の主旨を意識しながら読む整理読み④似たテーマの本を並行して読む検証読み⑤仮説があっていたか本と議論する議論読みの5つです。

私は②の取材読みが“目からウロコ”でした。なんで作者は答えを知っているのに質問する？という長年の疑問が一気に解決しました（私も豆知識で使ってみました）。

さらに、ラストは両想いになってハッピーエンドというのも読後スッキリです(笑)